

野球部通信 Vo.1

令和2年8月号

【編集者】

監督:岩切

ミーティング内容

1 練習で良かったところ
・実戦練習 → エラーの「目標」
・サイン → ホール返し(3分以内)
・1日300本振る(居残りのT)
・指示の声動き
・「スピード」「正確性」という声
・声が出ていた。だんまり
・サインが出た時に間をとめていた。

2 試合前の良かったところ
・切り替えが早かった。時間を有効利用
・何度もアプが効いていた。
・準備が早かった。(丁寧に早く)
・夕方の状態を共有できた。朝の練習の準備も早かった。

3 試合中の良かったところ
・不慣れた言葉を使わなかった
・予測の声 確認の声 一球一球
・声かけが多かった。スタメンの
・声かけが効いた。
・盛り上がった。

4 チームの課題
・打撃力・守備の連携
・サイン・全員で合点する。
・守備力・投球力・小技の正確性
・準備と片手、プラスの言葉
・大きな声を出す
・切り替えを早く

5 チームの目標
・県大会出場
・2勝

6 新チームの約束事
・グラウンド内全歩速・全歩
・返事 凡事徹底
・声を出さず。(練習前)
・全員で練習、プラスの言葉
・笑顔の準備

新チーム始動！！！！

夏の熱戦から休む間もなく、新チームでの活動が早速始まり
ました。新チームの初めての練習は、まずはミーティ
ングから。ミーティングでは先輩達が成し遂げた「シー
ド校、撃破」という功績が、なぜできたのかを生徒と先
生たちも交えて、意見を交換しました。その中でも、先輩
たちが意識して掛け合っていた「準備」という声、行
動の「スピード」が特に印象的だったらしく、この良さ
を引き継いで、チームの強みにしようという結論が出
ました。またチームの課題も見つめ直し、新チームの目標
も「県大会出場」と設定しました。決して不可能では
ない目標です。「目標が一日一日を支配する」。今この瞬
間が目標達成に繋がっている意識を持って練習に取り
組む気持ちが固まったミーティングでした。

「坊主」は強制しません！

高校球児の象徴である「坊主」。しかし、野球部は新チームから「坊主」は強制しません。この選
択は、一見すれば「楽」「規則の緩さ」を表すものだと思われがちですが、果たしてそうでしょう
か。「高校球児」＝「坊主」というのは、世間一般がもつイメージでもあり、「理想」でもあります。そ
の世間が求める姿と、「逆」のことをすれば、風当たりも強くなるかと思えます。「高校球児なの
に、なんで彼らは坊主ではないのだ」「おかしい」と。しかし、時代も変わり、様々な個性が認めら
れる令和の時代に「坊主強制」というのは違和感を覚えます。坊主でなくても、見た目ではない
部分で応援されるチーム。それこそが、真に求められる高校球児の姿なのではないでしょうか。

新ギア導入！ その名も「ジャベリックスロー」！

プロ野球選手も練習で使用している「ジャベリックスロー」を導入。

早速みんなで投げ合ってみました。なかなかうまくいきません。

しかしながら、新エースはあっさり順応。そして、ジャベリックスローをした後に投球練習を行うと、明らかにボールの質が変わりました。本人に話を聞くと「リリースがしやすくなった」「体全体でスムーズに投げられるようになった」と明るく話してくれました。「試合の時も持って行っていいですか」と、かなり手ごたえがあったようです。継続してトレーニングをして、磨きをかけてほしいですね。

他の部員も頑張れ！！



ジャベリックスロー



中学生の皆さんへ

樟風高校の野球部では、「新しいこと」や、「良い」と思ったことは、常識にとらわれず、挑戦的に取り組む環境が整っています。また練習の雰囲気もよく、みんなが楽しみながら、自分の成長のために練習に取り組むことができます。ぜひ樟風高校と一緒に野球をしませんか(^^)もし興味がある中学生の生徒さんがいたら、練習の見学だけでも来てみてください。